

佐伯総合建設(株) 安全協力会**第1回 「職長・安全衛生責任者教育」を開催しました**

日 時： 7月6日(金)・20日(金) (2日間) 9時30分～17時30分

場 所： 大口市健康文化センター ほほえみプラザ
(4階研修センター ほほえみホール)講 師： (株)安全サービスセンター 所長 辻 宏夫 氏
(佐伯総合建設(株)：外部講師)

参加者： 各協力会社 51名

佐伯総合建設(株)安全協力会では、建設現場で作業する一人ひとりが安全意識・安全知識を高め、「災害ゼロ」で建物を完成させ、お客様に気持ち良くお引渡しできるように、各協力会社の社員や作業者を対象に安全衛生教育を実施しております。

職長・安全衛生責任者教育は、安全衛生法第60条、規則第40条に規定される法律で定められた特別安全教育です。一般的には作業現場で指揮監督する立場の作業員(職長)や、元請等との連絡調整等を図る立場の作業員(安全衛生責任者)に対して教育を実施しますが、佐伯総合建設(株)安全協力会は、建設現場に入場する全ての作業従事者を対象に、安全衛生に関わる基礎知識やリスクに対する予測及び管理能力や手法(リスクアセスメント、KY)を習得し、全員で建設業労働安全衛生マネジメントシステム(COHSMS)を運用し、安全・安心な職場環境を造り上げ、より良く(品質)、より価値のある(コスト)、より早く(納期)、より安心(安全)な建物づくりを目指します。



講師 辻先生



講習の様子

～参加者の感想(抜粋)～

- ・10年前に受けておけばよかったと思いました。
- ・テキストの文面を読み上げるのではなく、感情的で自分自身に「グッ」とくるものがありました。
- ・予想と違った勉強内容でした。社に帰りこんな講義が出来たのなら、安全意識が高まると思う。
- ・今日の研修を受けて1番感じた事は、「自分の身は自分で守る」です。自分が守れず、他人を守る事はできません。まさに「本気なら知恵がでる。中途半端は愚痴がでる。いいかげんは言い訳ばかり」の様にとどの場面でも『真剣』に行動したいと思います。
- ・仕事で怪我が多かったので、仕事を始めた初期にこういった教育を受けるのが望ましいと思いました。



沢山のご参加ありがとうございました。次回の講習は10月頃を予定しております。